



ここが聞きたい、飛矢崎さん！

今の県政、大丈夫？ 第三弾！

## 動かそう!! 市民のチカラで

### 山梨県の県議会は どうなっているの？

コロナ対策に県費は不使用。コロナワクチン接種推進業務の随意契約で、コールセンターに1ヵ月で1800万円を大盤振る舞い。「県有地問題」では不透明な調査業務委託費。海外プロモーションと地域プロモーション併せて3500万円超を東京の同一業者が受託。「男女共同参画推進センター3館存続」請願署名1万5千筆超に 대응せずにセンターは統廃合と再決定。山梨県政への疑惑・疑問をいくつも並べたが、議会は行政に対する監視ができていますか。

また、昨年9月には「県有地問題」の貸付をめぐって調査、検証、議論する特別委員会を廃止。自民系会派の間で議長職をたらい回しにする慣例は続行。そして政権与党の改憲論議に呼応するような「憲法の実現に向けた国会審議を求める意見書」はほとんど審議もなく議決して国会提出。自由闊達な議論こそ議会の使命なのに、現状はかけ離れている。

それにもかかわらず、「山梨県議会基本条例 検証結果報告書」は、議会運営の最高規範である「基本条例が定める目的を

## 今こそ、県議会改革を!!

### ひやざき雅也の政策提案 **ステップ1**

概ね達成している」と評価した。議会改革は、“待たなし”だ。

### 議会改革の3本の柱を提案!

第1の柱は、議会は知事の追認機関ではなく、県議会が議論する機関として自立し、その役割と責任を果たすために、議会基本条例に正副議長の役職配分を議会運営委員会で決める規定を入れ、議長職のたらい回しを廃止し、議長のリーダーシップを確立させる。

第2の柱は、「チーム議会」として知事と善政を競うために、行政部局から独立した議会事務局体制を構築し、調査スタッフを充実させ、議員の政策能力を向上させる。また、住民と議会の協働による政策提言活動の取り組みとして「政策サポーター制度」を新設する。

第3の柱は、住民参加型の議会を実現するために、議会と住民との意見交換会を開催する。議会だよりの充実で住民と議会との結びつきを強めるとともに、住民の意見を議会・議員活動にも反映させる。現県議会の女性議員はたった1人、これでは議会が多様な民意が反映できない。女性議員養成組織を設立して女性の議会進出を支援する。

### 未来社会に対応できる 新しい議会を創ろう!!

今の県議会では激しく変わる社会に対応できない。そして、住民の願いは実現されない。これからは、住民自治を大切にする議会に改革していく必要がある。そのために、わたしは奮闘したい。

## ハケ岳 画報



春まつや 山びこなごむ  
峡つづき 飯田蛇笏作  
俳人飯田蛇笏が高浜虚子を豊富温泉へ案内したのが大正7年、第一次世界大戦中のことであった。



## 「日本国憲法はどこへ行ってしまったのかな？」

金子 賢一

最近の国会では危い意見が罷り通っている。平和を唱えながら軍拡を推進する。これは一体なんなのか？

昭和20年(1945年)私は小学6年、学童疎開に行かず、男手として家事手伝いのため東京に残った。東京下町地域への大空襲以後、本土全域への空襲は激しさを増し、東京では昼夜を問わず空襲の日々となり、その都度多くの方々が亡くなり、日々死を覚悟しての生活となっていた。昭和20年8月「終戦」、戦争に「勝った」「負けた」ではなく、「戦争が終った」ことがすごく嬉しかった。軍事教練の場であった校庭に部活の楽しい声

が戻った光景は、表現のしようがない幸福感でいっぱいだった。

先日、飛矢崎先生が執筆者の一員である『平和創造学への道案内』なる書籍を拝読させていただきました。過去の様々なる国家間の問題は、話し合いによって解決できたものが全てであることを示唆し、多くの歴史を解明することによって平和の道しるべとしていることに感銘をうけました。

## 「こぼれ落ちた所で花を咲かせよ」

清水 次郎(90歳 現役植木職人)

私のこぼれ落ちた所は八ヶ岳、秩父、甲斐駒、鳳凰山にいだかれたすばらしい八ヶ岳南麓だ。多くの人のお付き合いが何よりも有難い心のささえだ。無理せず楽しみを感じながら依頼された仕事をする、安全第一に。特殊木もある、下見をして不明な事があれば再度下見、伐木を依頼されればまず自分の力で出来るかどうか、無理ならば引き受けないこと、仕方によっては出来ると思えば協力してくれる人と仕上げる。伐木は樹上

の仕事も多い、下で見る樹と同じ樹で有りながら上で見る樹の違い、下で仕事をする人と打ち合わせをしつかりやり、あとは樹の動きを感じ取りながら伐木となる。“政治、行政にたずさわる人達も同じだ。”根本切りの自分の心は樹に手を置き“ごめんね”と・・・受け口を入れ、追い口を入れて行く、伐倒終了。この仕事が私に出来るのは少年期の遊びで自分の体で“おぼえた”無意識の経験が役立っている。少年期の遊びは人の後の人生にとって一番大切な役に立つことが多い。遊びのなかで、竹林の中で竹にのぼり力いっぱいゆすりとなりの竹に移り行く。その体験があるから今の仕事が出来ると思う。幼少期からの体験を生かし、“三方一両得”の仕事が続けたい。

明日の仕事にとって今日の仕事が土台になっている。またうれしい明日が、“私はとても運の良い人間だ”と心に感じながら。

■投稿お待ちしております  
matsumotohiro@hotmail.co.jp  
〒409-1501  
大泉町西井出2993-1(松元宏宛)

## ひやざき雅也活動報告

### ① 2021年12月19日

#### 石橋湛山平和賞表彰式に参列



(論文「平和憲法と戦後日本—平和憲法をどのようにとらえるか?」で奨励賞を受賞)

FM 八ヶ岳  
飛矢崎 雅也の担当番組

地方行政・議会について語ります

## 「暮らしの羅針盤」市民と政治をつなぎます



毎月第1・2木曜日 9時15分・11時・19時

スマートフォンやパソコンでも聴くことができます FM 八ヶ岳

## お知らせ

### ② 3月13日(日)午後2時~4時

於高根町農村環境改善センター

#### 「2022年後援会総会」

皆さまと政治を大いに語り合う場にしたいと思います。是非、ご参加をお願い申し上げます。なお、詳細は同封別紙にてお知らせ致します。

## 編集後記

“昭和史の語り部”半藤一利さんを偲ぶラジオ放送を聴きました。昭和20年3月10日の東京大空襲の体験から、何があったのか、なぜ戦争になったのか、「おい、ちょっと待てよ。」と事実を客観的に見ていくことにより、過去から学ぶ歴史学習の意義を訴えられていました。歴史から学んだことを伝え、更に、政治の世界に飛び込んだひやざき雅也の学者としての深い識見、政治に向かう強い信念と情熱は、市民政治を実現したい私たちにとって大きな大きな武器です。二元代表制の機能を果たさず知事の言いなりの県議会や、中央政府の結論ありき、上意下達の行政を正すには、ひやざき雅也の存在が今こそ求められていると強く思うのです。(0)

## ひやざき通信

NO.9 2022年2月28日

発行:ひやざき雅也を応援する会

〒409-1501 北杜市大泉町西井出8240-8444

☎080-1036-5373(増田)

✉hiyazaki.ouen@gmail.com

飛矢崎 雅也

Official Site

https://hiyazaki.com/

